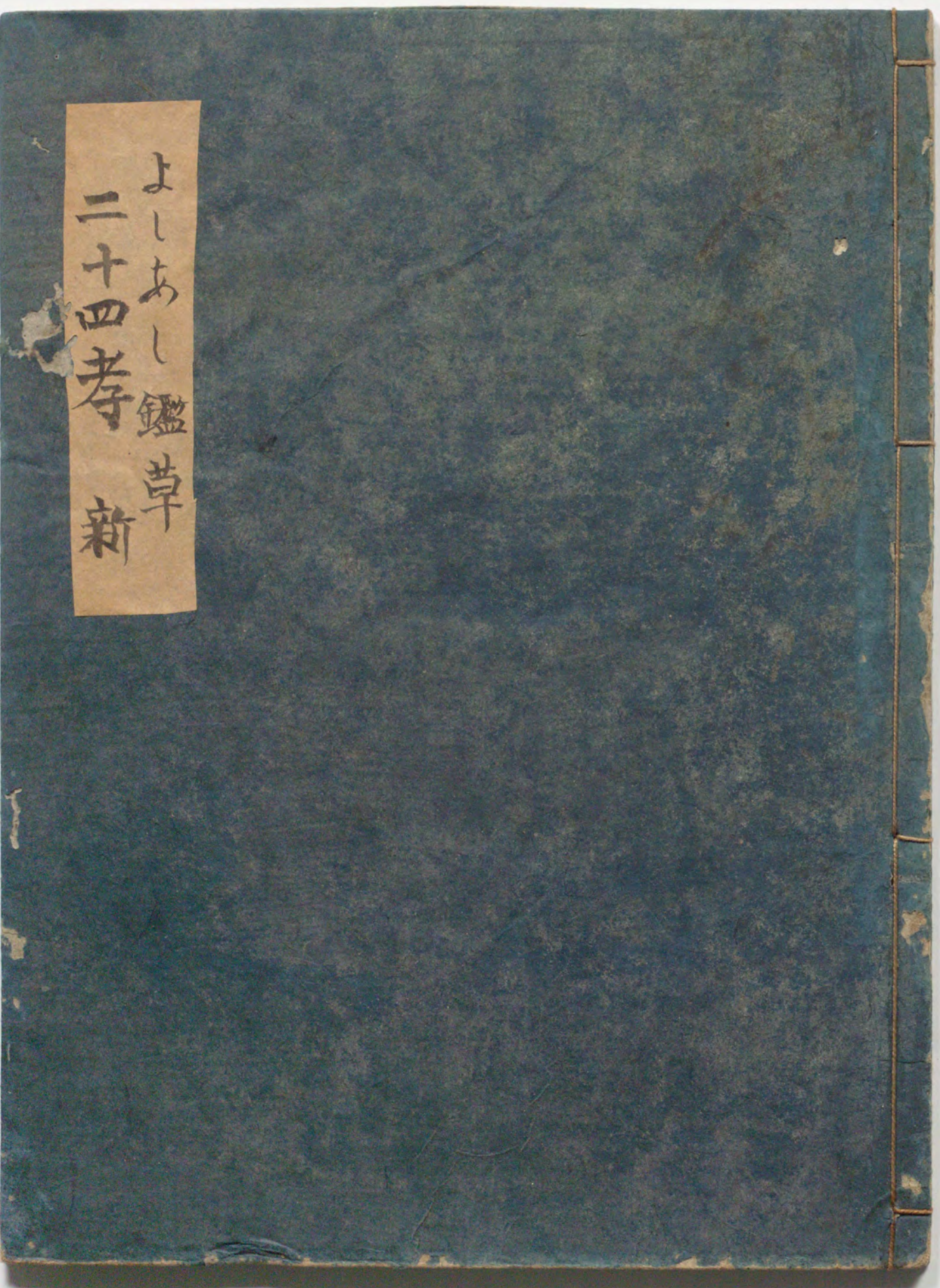




よしあし鑑草
二十四孝新

恐雷

[illegible]

蓮實

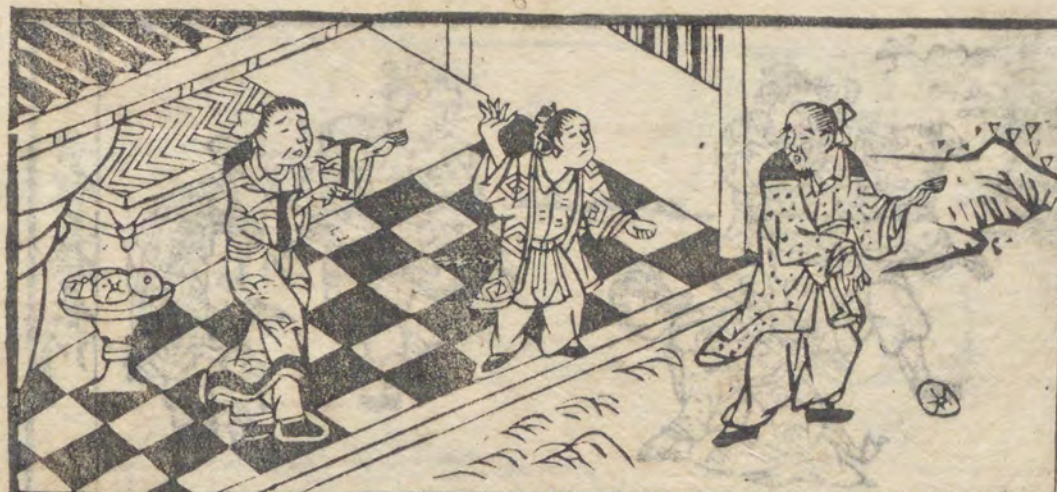


海國の國下^{シモノカミ}母と云ふに蓮^{レン}美といふ人俗の附たま^{ツキ}く
 一子^{ヒトコ}はもうけしあつた附^{ツキ}榮^{ハル}かたて父の稱^ナ入^イりたるを
 さふせは母^{ハハ}死^シ掛^カり引^{ヒキ}たりたをすたれどか
 おたふさん^{オタフサン}は附^{ツキ}死^シ解^{トク}ひし一^{ヒト}七^{ナナ}歳^{サイ}ふ及^{およ}ばれど今^{イマ}の子
 ありもそる我^{オレ}代^{ダイ}傳^{デン}不^フよむをの異^イ族^{ソク}也^{ナリ}附^{ツキ}松^{マツ}付^{ツキ}え
 る衆^{シユウ}代^{ダイ}未^ミだの由^ユ式^{シキ}時^{トキ}育^{イク}堂^{ドウ}いつやまたり^{ナリ}後^{ノチ}に老^{ロウ}儒^{ニョウ}
 来^キりて曰^{イハ}はるあまの山^{ヤマ}に高^{タカ}人^{ヒト}とて人^{ヒト}乃^ハ娘^メ也^{ナリ}多^タく
 百人^{ヒャクニン}越^コたりは附^{ツキ}母^{ハハ}をたてて我^{オレ}代^{ダイ}傳^{デン}にまひ^{マヒ}たりとて
 どん^{ドン}金^{キン}を^ヲんとし^テ一^{ヒト}は娘^メ解^{トク}ひたりとて^{ナリ}あんな^{ナンナ}は
 是^{コノ}といふく^ニあ^ハま^ハ世^ヨに^ニた^レる^ニを^ヲた^テ今^{イマ}こ^ノろ^ニと^テん
 金^{キン}は^ハと^テと^テる^ニゆ^ヘ七^{ナナ}歳^{サイ}之^ノ娘^メあ^ハま^ハり^ニたり^{ナリ}あ^ハま^ハ山^{ヤマ}に^ニあ^ハま^ハ
 入^イり^ニあ^ハま^ハり^ニあ^ハま^ハる^ニを^ヲた^テて^{ナリ}我^{オレ}代^{ダイ}傳^{デン}に^ニま^ハひ^ニたり^{ナリ}と^テん
 金^{キン}と^テそ^ノの^ノあ^ハま^ハと^テて^{ナリ}あ^ハま^ハる^ニを^ヲた^テて^{ナリ}それ^ノが^ノ同^{ドウ}果^カの^ノ
 所^{トコロ}に^ニあ^ハま^ハる^ニを^ヲた^テて^{ナリ}それ^ノが^ノ同^{ドウ}果^カの^ノ

秀郭



唐土種相といふ所に秀郭と云ふ事ある中にも
 好い毎々酒飯指し宛ててゝひたのしむる所
 四月竹の子時不安に候中候のみと愛したる候
 秀郭外へ移り例の酒宴にひそめ候のたゞ思
 る故せられた母は同席するまじきと云ふため
 親近目にあまうに安らひを難ふ候も人爲小
 竹の子は愛するといふ郭太いより我は酒席を
 とて酒飯指し宛てにせしめ候は蓋々の思を今
 いそぐ候も人々中こそ竹の子は思ふ人ぐり
 母は思ふれど竹の子も思ふ人ぐりゆたりも
 郭太に思ふ人ぐりすもたゞれ候思ひも思
 ひくし思ふ人ぐりも思ふ人食とあり云々
 人々思ふ人ぐり思ふ人死ふ人



唐古薩後といふ云懷といふ者云其時を欲といふ
人の要めたるふそふ道に移成ぬとてそでよ
い通^{ヲキ}重なるは全に恥とぞ我よりなりとて一々
笑ひしるそやいふされむくそ乃の物ともさ
よといふも懐^{イロ}海^{タレ}にけり「是又乃作なりれ
んぞこの人でそ成あらんやゆふ之そ我
さびちあゆみと移成むらひて又ふあひつたり
又毛^ユ成ぬとてさるに雅ともやうけふと
た今すまれあるそ若れ老とてあそはちな
成きり追うしるひかりせいの辰も無た^{アグトク}
或^タ時他人のころしける人はいはれぬるを
ふそ^ユふそ身ようづそそものにつとふあひて
死なるとなり

[illegible][illegible]

